

LIXIL 目隠し可動ルーバー (引違い窓用) (装飾窓用) 取付け説明書



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●目隠し可動ルーバーの落下・転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
- ・木造躯体専用のため、ALC・RCなどの躯体には使用しないでください。
- ・取付け前に必ず、柱と間柱の位置・寸法、外壁材・下地材を建築図面で確認してください。
- ・通気工法の場合、取付け部に胴縁があることを確認してください。
- ・壁厚が30mm以上の場合は、必ず厚壁用ねじセット(別売品)をご使用ください。
- ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじを指定の数量使用してください。
- ・外壁の下穴は、柱まであけないでください。
- ・外壁だけでなく、必ず柱などの躯体にねじ止めしてください。
- ・外壁の下穴は、φ3mmのドリルを使用してください。
- ・取付け後、本体をゆすり、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

●外壁の下穴には、必ずコーキング材を充てんしてください。

コーキング材を充てんしないと漏水の原因となるおそれがあります。

●取付けは、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(製品重量は最大で約18kgになります。)

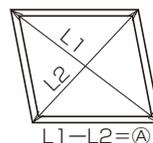
■取付け上のお願い

- ねじは必ず締め付けてください。
- 不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。
- ブラケットの上下方向の取付け位置調整はできません。事前に参考納まり図をご確認ください。
- 目隠し可動ルーバー出来寸法がW1745以上、またはW1425以上かつH801以上の場合は、上枠に中間ブラケットが付きます。
- 入隅納まりについては、入隅ブラケットセット(別売品)と本ブラケットセットを組み合わせてご使用ください。
- 入隅納まりの取付けについては、入隅ブラケットセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

●目隠し可動ルーバー室外面には、サイズにより養生テープが張られています。これは目隠し可動ルーバー枠の剛性を保つためのものですので、躯体への取付けが完了するまでははがさないでください。

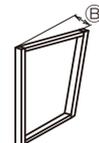
●躯体に固定する際に、目隠し可動ルーバー枠が下記の寸法以下になっているかを確認してください。

■枠対角差



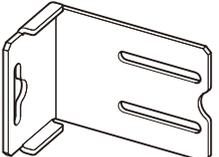
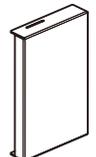
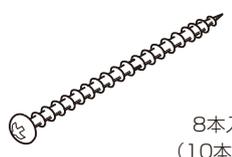
A 3

■枠のねじれ



B 2

■部品一覧

ブラケットB	ブラケットカバー	トラス小ねじM4×6	トラスタッピンねじ(1種)φ4×70
			
4個入 (5個入)	4個入 (5個入)	8本入 (10本入)	8本入 (10本入)

※()内は中間ブラケットが付く場合の個数になります。

■取付け順序

1 ブラケットBの取付け

●目隠し可動ルーバーに取付けられているブラケットAと中間ブラケットにブラケットBを取付けます。取付けの際は、ブラケットの出幅を調整してください。

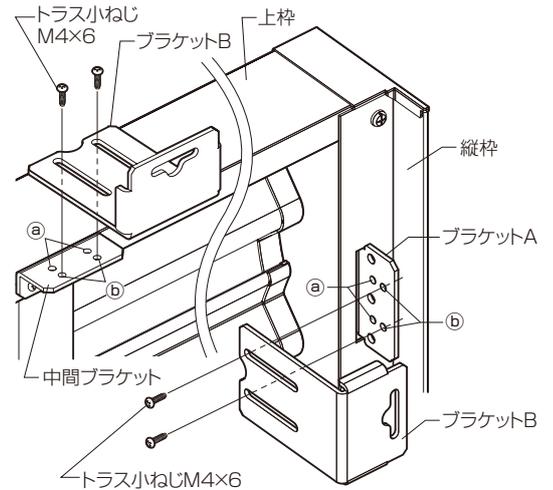
※調整幅については参考納まり図をご確認ください。

【ブラケットAの取付けねじ穴①、②について】

ブラケットAのねじ穴①、②は、ブラケットの出幅寸法によって取付けるねじ穴が決まります。下記を参照し、該当するねじ穴にブラケットBを固定してください。

ブラケット出幅寸法	取付けるねじ穴
17.5~23.5	①
24.0~52.5	②

※操作盤と網戸の干渉にご注意ください。

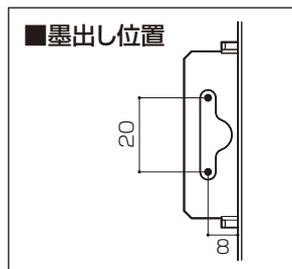


2 目隠し可動ルーバー本体の取付け

①目隠し可動ルーバー取付け位置の墨出しをしてください。

※墨出しをする際には、参考納まり図をご確認ください。

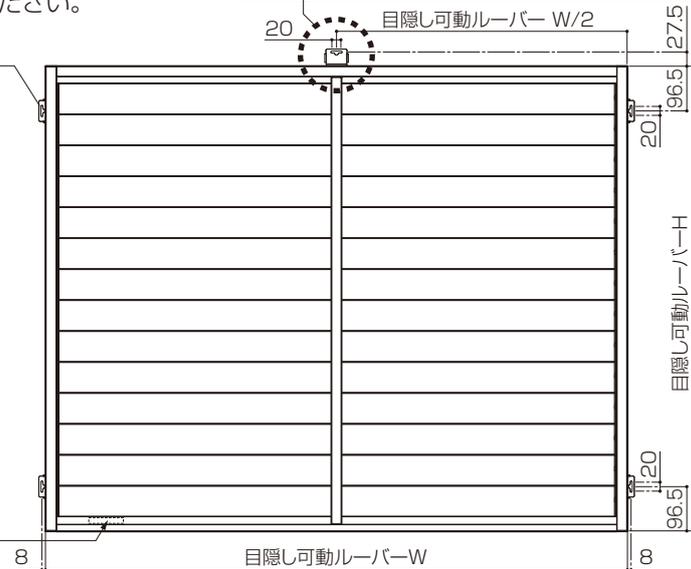
※中間ブラケット付きの場合のみ
上枠が垂れ下がった状態にならないように墨出ししてください。



▲注意

- 外壁だけでなく、必ず柱などの躯体にねじ止めしてください。

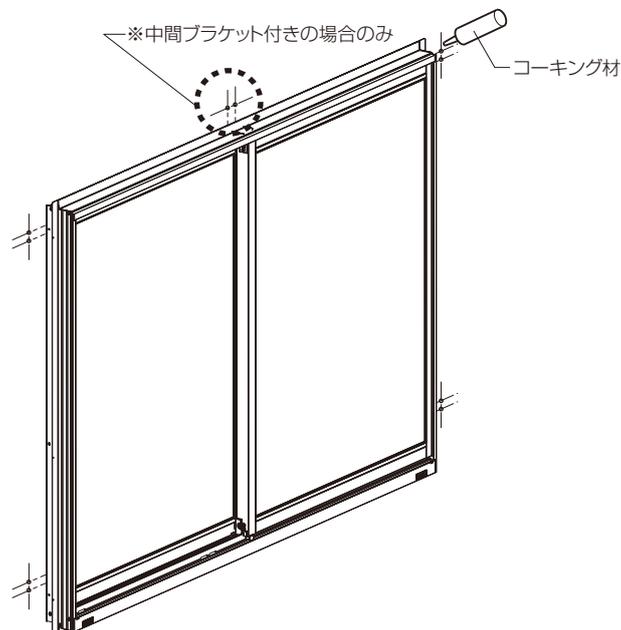
ロットNo.表示位置
下枠内観



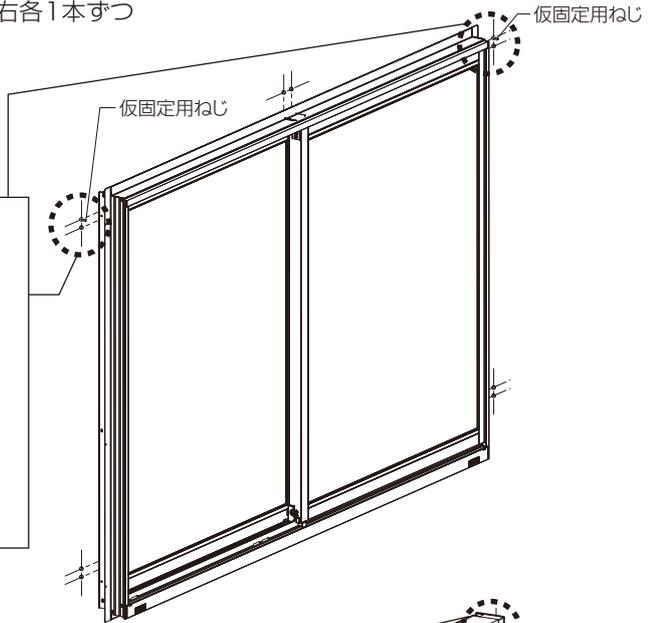
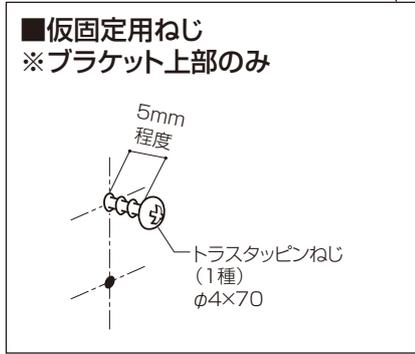
②墨出した取付け位置に下穴(φ3mm)をあけ、コーキング材を充てんしてください。

▲注意

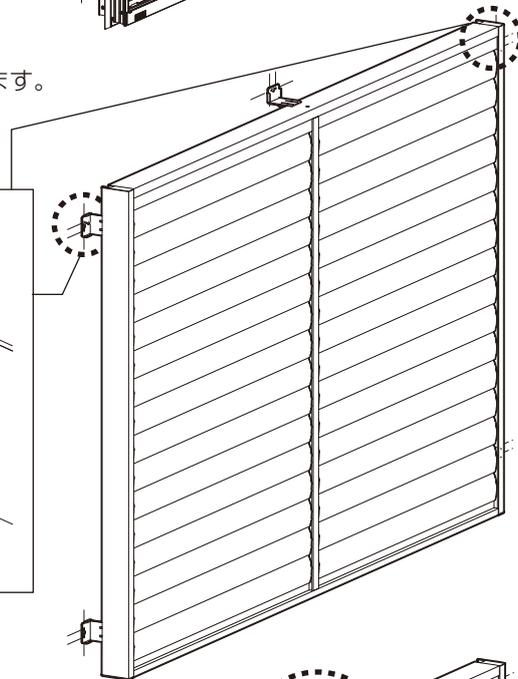
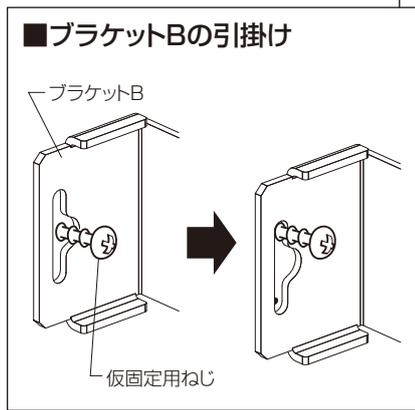
- 外壁の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。
- 外壁の下穴は、柱まであけないでください。



③両側の上部ブラケット取付け下穴に仮固定用ねじを左右各1本ずつ外壁面から5mm程度残して途中まで締めます。



④左右それぞれの仮固定用ねじにブラケットBを引掛けます。



⑤仮固定用ねじを最後まで締め付け、残りの下穴についても固定ねじで固定します。

※中間ブラケット付きの場合のみ

